



# 横断型教育プログラムへ



東京大学総長 藤井 輝夫

人類が直面している現代的課題の多くは、これまでに体系化されてきた単一の学問分野では解決できないものです。すなわちそれらの解決には、多くの学問分野から知恵を出し合い、対応する必要があります。また、社会の変化が速くなってきている中で、特定の専門知識を持っていたとしても、有効に使える場面が変わってしまう可能性もあります。東京大学は、深く多様な学問に基づく知を基盤として、自ら問いを立て、必要な知見を編み合わせながら知を探求する、あるいは人類的な課題に積極的に取り組む、そうした人材を幅広く育てたいと考えています。

学生のみなさんには、自分が問われている問いや課題に対して必要な知を使う力をつけてもらいたいと思っています。そのためには、特定分野の専門知識だけでなく、新たな課題に果敢に挑戦し、幅広い分野を横断していく柔軟な知性及び複線的な視座を柔軟に統合する能力が不可欠です。

東京大学は、新しい課題に向けて異なる分野の知をつなぐ横断型教育プログラムを展開しています。横断型教育プログラムとは、定められたテーマに沿って、複数の教育部局において開設している講義・演習等をひとまとまりとして履修するもので、所属する教育部局固有の教育カリキュラムに加えて履修することができます。現在では12のテーマでプログラムを展開しており、どれもこれまでにない新しい創造的領域に挑戦するものです。

みなさんの積極的な参加を期待します。

# の招待

#### 修了証授与までのステップ

履修資格:東京大学のすべての学部後期課程及び研究科(教育部を含む) に所属している学生が履修できます。学部横断型は、学部3~4年生(大学院学生も各研究科の規則の範囲で履修可能)、大学院横断型は、大学院学生が対象です。

※「海洋学際教育プログラム」、「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」、「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム」及び「サイバーセキュリティ教育プログラム」については、ウェブサイトで指示されている方法に従ってプログラムへの参加登録を行ってください。

Step 1

# 科目履修登録

各研究科・学部の通常の履修手続きに 従ってください。

Step 2

# 科目単位認定

単位・成績の評価は、各科目に関する通常のルールに従って 授業科目ごとに行われます。

Step 3

### 修了証申請

修了証の申請時期は、在学している学部を卒業又は大学院を修了 (博士課程満期退学を含む)する学期の始めです。修了証授与を希望する学生は、 UTASで期間中に手続きを行ってください。 プログラムによって必修科目等の単位数が異なります。 詳細は各プログラムのウェブサイト等で確認してください。

Step 4

### 修了証授与

各プログラムの修了に必要な単位を取得し、在学している学部を卒業又は大学院を修了 (博士課程満期退学を含む)した履修者には、東京大学から修了証が授与されます。 この修了証は、全学の教育運営委員会で認められて大学が授与する正式な修了証です。

※プログラムの修了に必要な単位を取得しても、学部卒業・大学院修了(博士課程満期 退学を含む)ができなかった場合には修了証は交付されません。

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/University-wideEducationProgram.html

# 大学院横断型

University-wide Graduate Education Program



Interdisciplinary Education Program on Ocean Science and Policy 海洋学際教育プログラム

海洋学際教育プログラム事務局 e-mail:education@oa.u-tokyo.ac.jp tel:04-7136-6416 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/



Digital Humanities デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム

人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター 人文情報学部門 DH 教育プログラム担当 e-mail:dh-education@l.u-tokyo.ac.jp https://dh.l.u-tokyo.ac.jp/education



Science, Technology, and Innovation Governance 科学技術イノベーション政策の科学 教育プログラム

科学技術イノベーション政策の科学 教育プログラム事務局 e-mail:STIG@pp.u-tokyo.ac.jp tel:03-5841-0955 (日本語) https://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/ (English) https://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/en/



Global Leadership Program for Social Design and Management 社会デザインと実践のための グローバルリーダーシップ養成プログラム

公共政策大学院 社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成 プログラム事務局 e-mail:gsdm-ppoffice@pp.u-tokvo.ac.ip tel:03-5841-0846

e-mail:gsdm-ppoffice@pp.u-tokyo.ac.jp tel:03-5841-0846 (日本語) https://gsdm.u-tokyo.ac.jp/gsdm2.0/ (English) https://gsdm.u-tokyo.ac.jp/gsdm2.0/en/

# 学部横断型

University-wide Undergraduate Education Program



Media Content メディアコンテンツ教育プログラム

情報学環メディア・コンテンツ総合研究機構 MC 教育プログラム担当 e-mail:info@utokyomc.org http://www.utokyomc.org



Barrier-Free Education バリアフリー教育プログラム

教育学研究科附属パリアフリー教育開発研究センター e-mail:cbfe@p.u-tokyo.ac.jp tel & fax: 03-5841-1406 https://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/cdp/barrier-free-education/



Death and Life Studies and Practical Ethics 死生学・応用倫理教育プログラム

文学部 死生学・応用倫理センター e-mail:dalspe@l.u-tokyo.ac.jp http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/ja/education.html



Global Japan Studies 国際総合日本学教育プログラム

現代日本研究センター e-mail:contact@tcjs.u-tokyo.ac.jp (日本語) https://tcjs.u-tokyo.ac.jp/ja/gjs (English) https://tcjs.u-tokyo.ac.jp/gjs



Human Integrative Science and Education of Mind こころの総合人間科学教育プログラム

心の多様性と適応の連携研究機構 こころの総合人間科学教育プログラム担当 e-mail:utidahm-office@umin.ac.jp http://plaza.umin.ac.jp/~UTIDAHM/phisem/



Mathematics and Data Science

数理・データサイエンス教育プログラム

数理・情報教育研究センター 数理・データサイエンス教育プログラム担当 e-mail:mds-oudan@mi.u-tokyo.ac.jp http://mi.u-tokyo.ac.jp/mds-oudan/



Future Regional Society 地域未来社会教育プログラム

地域未来社会連携研究機構 FRS 教育プログラム担当 e-mail:office@frs.c.u-tokyo.ac.jp https://frs.c.u-tokyo.ac.jp/



CyberSecurity サイバーセキュリティ教育プログラム

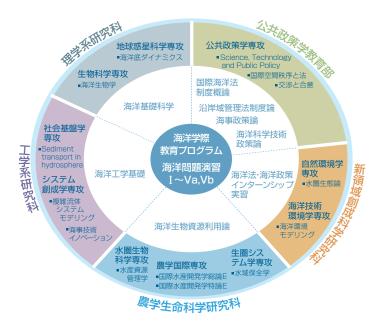
情報セキュリティ教育研究センター e-mail:education@si.u-tokyo.ac.jp https://si.u-tokyo.ac.jp/CyberSecurity/

## 海洋学際教育プログラム

海に関わる教育研究の部局横断的なネットワーク組織として、分野横断型 大学院教育プログラムを実施します。理系・文系といった従来の枠組みを越 えた学際領域としての海洋学の総合的な発展と、日本の海洋政策の統合化 および国際化を担いうる人材の育成を目指します。







#### ● プログラム概要

本プログラムの講義科目は、関連する研究科・専攻の科目によって構成されます。 具体的には、海洋問題演習を必修科目として実施5研究科で各々開講し、また分 野横断的な学習を促すため、共通科目、文系科目、理系科目を含む選択必修科目を 各研究科において開講します。また、講義への理解をより深めるため、これらの 科目とは別に、各研究科の開講科目の中から1~2科目の履修を推奨しています。

#### ● 科目群

【必修科目】海洋問題演習 I~Va,Vb

【選択必修科目】海洋法・海洋政策インターンシップ実習 / 海事政策論 / 国際海洋法制度概論 / 沿岸域管理法制度論 / 海洋科学技術政策論 / 海洋基礎科学 / 海洋工学基礎 / 海洋生物資源利用論

【推奨科目】海洋底ダイナミクス / 海洋生物学 / Sediment transport in hydrosphere / 複雑流体システムモデリング / 海事技術イノベーション /水産資源管理 / 国際水産開発学総論 E / 国際水産開発学特論 E / 水域保全学 / 水圏生態論 / 海洋環境モデリング / Science, Technology and Public Policy / 国際空間秩序と法 / 交渉と合意 など

#### ● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生

【履修】必修科目を含む12単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも可能です。

※上記は2021年度以降に入学した者の取り扱いを記載しております。2020年度以前に入学した者は従前どおりの科目群(必修科目、選択必修科目1~3、推奨科目)、必須修得単位数(必修科目を含む14単位以上)としますので、詳細はホームページを参照するか、プログラム事務局へ問い合わせてください。

# デジタル・ヒューマニティーズ 教育プログラム

DIGITAL HUMANITIES

デジタル技術は、人類の知的資源の保存、研究、発信の方法を大きく変えて、情報社会の新しい知識基盤を形成しています。この変化に対応すべく、デジタル媒体による学術資料のアーカイブ構築、文化コンテンツや言語テクストの分析、学術成果の公開や展示の方法などを、文系・理系の枠組みを横断して研究する「デジタル・ヒューマニティーズ」の動きが世界的に拡がっています。本プログラムは、デジタル技術を用いたヒューマニティーズの新しい方法とともに、情報学を文化資源の構築に活かしていく方法を広く学びます。



# 基礎科目 I アーカイビング コア科目 基礎科目 II アナリシス ブレゼンテーション 関連科目

#### ● プログラム概要

本プログラムは、〈コア科目〉、〈基礎科目〉、〈関連科目〉によって構成されます。〈コア科目〉はデジタル・ヒューマニティーズの中核をなすもので、2つの「必修科目」が含まれます。〈基礎科目〉は、I)アーカイビング、II)アナリシス、III)プレゼンテーションという 3 つの要素からなり、学問領域を横断して理論と方法を学ぶことができます。〈関連科目〉では、これらの科目に関係する情報社会基盤の知識を得ることができます。

#### ● 科目群

【コア科目】人文情報学概論 I (必修科目) / デジタル・ヒューマニティーズ入門 (必修科目) / 人文情報学概論 II / 人文情報学の諸相 / 社会情報学研究法 I / 多文化共生・統合人間学演習 IV

【基礎科目 I 】文書文化論 / 情報媒体構造論 / 文化·人間情報学特論VII / 図書館情報学研究方法論

【基礎科目Ⅱ】 言語処理のための情報処理 /文化・人間情報学基礎Ⅱ / 音響音声学(1) / 音響音声学(2)

【基礎科目Ⅲ】人文情報学研究 I / 人文情報学研究 II / 人文情報学演習 I /人文情報学演習 II

【関連科目】情報メディア論 I: インターネット基礎 / 情報メディア論 II: 情報セキュリティ

#### ● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生

【履修】必修科目4単位を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

# 科学技術イノベーション政策の 科学教育プログラム



科学技術イノベーション政策の作成や実施に必要なエビデンス構築手法や、各分野における科学技術イノベーション政策プロセスに関する知識を身につけた、科学技術イノベーション政策の担い手となる人材育成を目的としています。



#### 科学技術イノベーションガバナンスの担い手を育成

政策形成人材 科学技術イノベーション 研究開発 政策研究人材 マネジメント人材

展開科目

分野別研究科目

基礎科目(a) 政策プロセス・制度論 基礎科目(b) エビデンス構築手法論

共同科目 科学技術イノベーション政策研究

> STIG 教育プログラム

公共政策大学院/工学系研究科/法学政治学研究科/経済学研究科/ 医学系研究科/情報学環・学際情報学府/総合文化研究科 etc.

#### ⊌ 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生

【履修】共同科目(必修科目)を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修要件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

※科目名称は、開設研究科によって異なる場合があります。

#### ● プログラム概要

本プログラムは、共同科目、基礎科目、展開科目、分野別研究科目によって構成され、関連する研究科・専攻の科目として開講します。共同科目では、演習形式で様々な知識の総合的活用の方法を身につける「科学技術イノベーション政策研究」を開講。基礎科目では、政策プロセス・制度論、エビデンス構築手法論と2種開講。展開科目では、基礎科目に関して展開・応用を図る科目を開講します。また、分野ごとの文脈に関する知識を提供し、個別分野における実践的能力を高めるための分野別研究科目の履修を推奨しています。

#### ● 科目群

【共同科目】事例研究・科学技術イノベーション政策研究

【基礎科目(a) 政策プロセス・制度論】 政策過程論 / 交渉と合意 / 科学技術・産業政策論 / Science, Technology and Public Policy / Policy Process and Negotiation / 事例研究・企業の技術戦略と国際公共政策 など

【基礎科目(b) エビデンス構築手法論】 Quantitative Methods for Management and Policy Analysis / Economic Analysis of Innovation / 政策分析 / 公共政策の経済評価 / Data Science for Practical Economic Research / Economic Analysis of Public Sector / Political Economics / 事例研究・テクノロジーアセスメント など

【展開科目】知的財産経営 / 科学技術コミュニケーション論 / Global Business Strategy and Policy / 事例研究 (政策環境検討手法としてのシナリオプランニング: 理論と実践) / Case Study (Business environment, stakeholders and issues; a learning experience in collaboration with Japanese industry) / International Intellectual Property Management / Case Study (GraSPP Policy Challenge) / Innovation and Entrepreneurship / Advanced Technology Management / 知識社会マネジメント / 市民社会組織・政策論 など【分野別研究科目】先端エネルギー技術経営と政策 / Space Development and Public Policy / 地域交通政策研究 / 事例研究・デジタル時代の行政と社会 / 国際保健政策学特論 / 国際交通政策 / 航空技術・政策・産業特論 / エネルギーシステム概論 (Overview of Energy Systems) / レジリエンス工学特論(Advanced Lecture on Resilience Engineering) / 医療イノベーション政策 / 観光地域政策 / 海洋科学技術政策論 / Social Design and Global Leadership など

# 社会デザインと実践のための グローバルリーダーシップ養成プログラム

資源・環境・エネルギー、保健・医療、宇宙・海洋、安全保障、グローバル経済、食料・生命、AI・デジタル化、学習・コミュニケーションといった幅広い領域における課題の解決策をデザインするとともに、卓越したコミュニケーション能力や行動力で解決を実践できるグローバルリーダーの育成を目的としたプログラムです。



#### ● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生

【履修】必修科目2単位、Project Based Learning 科目2単位、グローバル社会・政策コア科目・先端科学技術コア科目・課題解決力コア科目から8単位(各コア2単位以上、内英語科目4単位以上)の合計12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修要件はホームページをご覧ください。個別の科目のみの履修も歓迎しています。

# GSDM<sub>2.0</sub>

# ● プログラム概要 本プログラムは、様々な分野における課題設定について幅広く学ぶ必修科目と、選択必修科目の、政府、NPO、企業の現場の課題に応じて具体的な解決策の提案を行う「PBL科目」、俯瞰的視座を提供する「グローバル社会・政策コア科目」(主として文系科目)及び「先端科学技術コア科目」(主として理系科目)、各々の専門研究に即した設計力・行動力を養成する「課題

解決力コア科目」から構成されます。さらに、学生主導の自主的な分野横断的チームによる

実践的研究プロジェクト、学生間の交流機会も提供します。主要な活動言語は英語です。

◆ 科目群

【必修科目】Social Design and Global Leadership

【選択必修科目】■PB L 科目: Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions) / 工学コンピテンシー I -プロジェクト・ベースト・ラーニング-

■グローバル社会・政策コア科目: Introduction to Social Science / Science, Technology and Public Policy / 現代中国の外交 / New Dimensions of Security in the Risk Age / グローバル時代の国際移動と教育 他多数 ■先端科学技術コア科目: Advanced Study of Science & Technology / 科学技術・産業政策論 / 国際食料資源学(IPADS Food Resources) / 医療情報システム学 / 健康医療政策学 他多数 ■課題解決力コア科目: Case Study (Social Design and management) / 創造性工学プロジェクト I 他多数 ※科目名称は、開設研究科によって異なる場合があります。

# メディアコンテンツ教育プログラム

# MEDIA

人とメディアの関わりは大きく変化しています。本教育プログラムは、最新のインターネットビジネスなどの新しい動きを踏まえ、メディア上に流通するコンテンツの 創造に関する学部の枠を超えた横断的な教育と学際的な人材養成を目的とします。



#### 技術・創造 ロボットインテリジェンス 人工知能 ユーザーインターフェイス 映像メディア工学 ヒューマン・インタフェース 情報数理科学VI 言語·音声情報処理 ネットワーク工学概論 メディアコンテンツ特別講義 [ メディアコンテンツ特別講義 [[ 情報セキュリティ 創造性の心理学 技術とコンテンツ 人間情報学丁 人間情報学 V 学習環境のデザイン 情報社会及び情報倫理

#### ● プログラム概要

総合、技術・創造、文化・社会、人間・心理の分野から、メディアコンテンツに関連する科目を、2022年度は18科目を開講します。特に必修科目や選択科目の区別はありません。詳細はホームページをご覧ください。

#### ● 科目群

メディアコンテンツ特別講義 I / メディアコンテンツ特別講義 II / 技術とコンテンツ / 言語・音声情報処理 / ネットワーク工学概論 / 映像メディア工学 / 人工知能 / 情報セキュリティ / ヒューマン・インタフェース / ロボットインテリジェンス / 学習環境のデザイン / 創造性の心理学 / 情報数理科学 VI / 人間情報学 I / 人間情報学 V / ユーザーインターフェイス / 情報社会及び情報倫理 / 心理学特殊講義 V

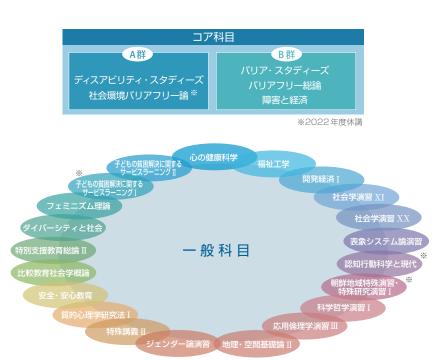
#### ● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。

【履修】合計で12単位以上を取得する必要があります。単位認定科目の詳細はホームページを参照してください。本年度末に卒業または修了する、学部・大学院の最終年度の学生にはプログラム修了証が交付されます。修了証の取得を目的とせずに個々の科目のみの履修も可能です。

# バリアフリー教育プログラム

人々の社会生活において、日常的な文化的社会的な営みそのものが「バリア」を内包しています。本プログラムは、「バリア」を生む文化社会への知的探求を目的とし、学部の枠を超えたカリキュラムを提供します。誰もが生活しやすいバリアフリー社会を構想し実現するための知見を創出し、蓄積し、発信していこうとする皆さんの積極的な参加を期待します。



# Depart Tools of the Control of the C

#### ● プログラム概要

選択必修科目であるコア科目(A群及びB群からそれぞれ1科目以上を履修)と一般科目によって構成されています。コア科目では教育学、社会学、経済学、支援技術論等の観点からバリアフリー研究の理論と方法に関わる基礎的な知識を習得し、一般科目では各学部の既存の科目によってその応用・展開を目指します。

#### ● 科目群

【コア科目】A群: ディスアビリティ· スタディーズ / 社会環境バリアフリー論※

B群: バリア・スタディーズ / バリアフリー総論 / 障害と経済【一般科目】心の健康科学 / 福祉工学 / 開発経済 I / 社会学演習 XI / 社会学演習 XX / 表象システム論演習 / 認知行動科学と現代\*\* / 朝鮮地域特殊演習・特殊研究演習 I\*/ 科学哲学演習 I / 応用倫理学演習 II / 地理・空間基礎論 II / ジェンダー論演習 / 特殊講義 II / 質的心理学研究法 I / 安全・安心教育 / 比較教育社会学概論 / 特別支援教育総論 II / ダイバーシティと社会 / フェミニズム理論 / 子どもの貧困解決に関するサービスラーニング I\*/ 子どもの貧困解決に関するサービスラーニング I

#### ● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生 も履修できます。

【履修】選択必修科目を含む12単位以上を取得した学生に、「プログラム修了証」を交付します。修了証の取得を目的とせずに、個別の科目を履修することも歓迎いたします。プログラムに関する最新情報は、webサイトをご覧ください。

# 死生学・応用倫理教育プログラム



死生学・応用倫理センター Death & Life Studies and Practical Ethics

死生学は、死すべき存在である人間のあり方を見すえ、そこから生きることの意味を再考する学問です。また、応用倫理は、現代社会のさまざまな場面で起きている諸問題に対し、どのように対応をすべきかを考える営みです。死生学・応用倫理教育プログラムは、これらの分野に関する学際的な知識を有する学生の育成を行います。関心を有する学生諸君の積極的な参加を歓迎します。





#### ● プログラム概要

本プログラムは必修科目(概論)、選択必修科目(演習)、選択科目(特殊講義など)から構成されます。履修者は死生学と応用倫理を概説する二つの概論を受講するほか、各自の関心によって多様な分野で開講されている演習や特講を選択できます。

#### ● 科目群

【必修科目】死生学概論 / 応用倫理概論

【必修選択科目】死生学演習 / 応用倫理演習

【選択科目】死生学特殊講義 / 応用倫理特殊講義 / 臨床教育現象学概論 /生命・医療倫理 I /家族と健康 /技術倫理 / 生命倫理 / 科学技術リテラシー論 I /応用倫理学概論 など

#### ● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。 但し、大学院学生がプログラム修了証の発行を希望する場合は、学部学生向けの 科目を登録してください。

【履修】必修科目4単位、選択必修科目2単位、選択科目6単位、計12単位以上を履修した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件などはホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目を履修することも歓迎いたします。

# 国際総合日本学教育プログラム

日本の政治・経済・文化・社会を理解するために必要となる知識を、様々な学部・ 分野の優れた教員が提供するプログラムです。基礎から専門にいたる日本学を、 英語により提供します。外国人留学生はもちろんのこと、日本人学生の参加も 歓迎します。







#### ● プログラム概要

基幹科目と展開科目から構成されます。基幹科目は、基礎的・根幹的な知識を提供するもので、7つのカテゴリーがあります。展開科目は、日本に関する様々な知識を提供するものです。

#### ● 科目群

【基幹科目】Japanese Politics / Japanese Law / Japanese Foreign Relations / Japanese Economy / Japanese Society and History / Japanese Culture / Japanese Educationの7つのカテゴリー

【展開科目】日本の政治、法律、外交、経済、文化、教育などに関する授業多数

#### ● 履修・修了要件

【対象】本学の学部後期課程学生(及び大学院学生)と、全学交換留学生・部局間 交換留学生として本学を訪れた特別聴講学生です。

【履修】基幹科目および展開科目から合計12単位以上(うち基幹科目の2つ以上のカテゴリーから4単位以上)を取得した学生に対して、プログラム修了証を交付します。詳細はホームページをご覧ください。

# こころの総合人間科学教育プログラム

「こころ」については、ヒトや動物の認知情報処理過程から、うつ、いじめなどの問題、自我、価値観などヒトの成熟過程まで、様々な側面から幅広い分野で研究が行われています。各研究分野はそれだけで完結せず、他分野との融合によって発展していきます。本プログラムでは、学内のこころの科学にかかわる教員が結集し、部局を超えた最先端のこころの総合的人間科学教育を提供します。こころの多様性と適応に関心のあるすべての皆さんの受講を歓迎します。







#### ● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、「こころ」について分野横断的に学ぶためのコア講義・実習8科目、選択科目は、様々な専門分野における「こころ」についての講義・実習28科目(2022年度) からなります。

#### ● 科目群

【選択必修科目】[教養] こころの総合人間科学概論 / こころの総合人間科学特論 / こころの総合人間科学演習 / 脳認知科学実習(1) / 脳認知科学実習(2) / 臨床発達精神医学実習 / 進化認知科学実習 / [文] 精神医学(隔年開講)

【選択科目】[教養] 認知脳科学概論 / 心理物理学 / 認知行動障害論 / 行動適応論 / 異常心理学 / 進化認知脳科学演習 / 言語と認知 I/ 発達認知脳科学 / [教育] 教授・学習心理学概論(教育・学校心理学) / 発達心理学 / 創造性の心理学 / バリア・スタディーズ / 教育の疫学入門 / 心と脳の発達 / ことばの発達心理学(学習・言語心理学) [文] 心理学概論 I / 心理学概論 I / 心理学特殊講義 I / 心理学特殊講義 IX / 社会心理学概論 I / 社会心理学概論 I / 社会心理学特殊講義 I / [法] Quantitative Social Science / 特別講義 医事法 / [理] 動物生理学 II / [薬] 生物統計学 / [医] 心の健康科学 / 家族と健康

#### ● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(内定生を含む) が対象ですが、大学院学生もプログラムに参加可能です。各科目の履修要件は科目毎に異なります。

【履修】選択必修科目6単位、選択科目6単位(選択必修科目のうち必要単位数を超えて取得した単位は算入可能)、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。

# 数理・データサイエンス教育プログラム

数理・データサイエンスの能力の重要性は、文系分野を含む様々な分野で急速な広がりを見せています。本プログラムでは、理系・文系にまたがる体系化された数理・データサイエンスに関する講義科目を提供します。プログラムを履修した学生は、理系・文系を問わず将来の研究あるいは実務の面において必要になる数理・データサイエンス分野に関する基礎的知識と技術を身につけることができます。





# Mathematics Data Science Statistics Informatics

#### ● プログラム概要

数理・データサイエンス分野の科目から構成されます。これらの科目を履修することにより、さまざまな応用分野で必要となる数理・データサイエンスの基礎的な力を身につけることができます。必修科目や選択科目の区別はありません。

#### 🍑 科目群

数理手法 I (統計学) / 数理手法 IV (確率論) / 数理手法 II (最適化手法) / 数理手法 III (最適化手法) / 数理手法 VII (時系列解析) / 数理科学続論 I (統計データ解析 II) / 数理科学続論 I (統計データ解析 II) / 確率統計学基礎 / Python プログラミング入門 / データマイニング概論 / 計算機実験 I / 計算機実験 II / 数理手法 VIII / 社会科学のための統計分析 / 文科系のための線形代数・解析 I / 文科系のための線形代数・解析 II / メディアプログラミング入門 / データサイエンス超入門 など

#### ● 履修・修了要件

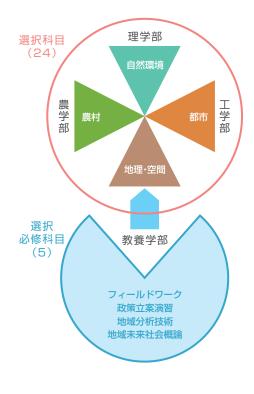
【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。 【履修】合計で12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目の みを履修することも歓迎します。プログラムに関する最新情報はホームページを ご覧ください。

# 地域未来社会教育プログラム

R

地方創生や地域の未来に関心があり、地域の現場での課題解決に意欲のある東大生を対象に、部局を横断した教育を実施します。幅広い専門的知識と先進的な地域分析技術を習得し、現地調査の経験を踏まえて政策提言を行うことのできる人材を育成することを目指します。





#### ● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、学外の専門家を交えた概論の講義と政策立案実習、RESAS(地域経済分析システム)や GIS(地理情報システム)などの地域分析技法の習得、地域未来社会連携研究機構のサテライト拠点などでのフィールドワークから構成されます。選択科目は、自然環境学、地理学、都市工学、農村計画学、国土デザイン、地域政策論など、多彩な科目群から選択することができます。

#### ● 科目群

【選択必修科目】 地域未来社会概論 / 地域未来社会政策立案演習 / 地域未来社会 フィールドワーク / 地理情報分析基礎 I / 応用地理情報分析

【選択科目】自然地理学 / 人間 - 環境システム学 / 自然環境論 / 国土デザイン / 農村地域デザイン / 社会経済地理学 I / 地域政策論 / 緑地計画概論 / 都市情報科学概論 / まちづくり論 / 地区の計画とデザイン / 国際都市地域計画論 / 現代ツーリズム論 / 社会調査法 / 都市住宅論 / 都市解析 / 木質構造科学概論 / 都市農村計画学 / 森林風景計画学 / 自然共生社会論 / 森林リモートセンシング / レクリエーション計画論 / 農村計画学 / 地域農業マネジメント

#### ● 履修・修了要件

【対象】 学部後期課程の学生(内定生を含む) が対象ですが、大学院学生も受講できます。

【履修】選択必修科目6単位、選択科目6単位(選択必修科目のうち必修単位数を超えて取得した単位は参入可能)、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。詳細はホームページをご覧ください。

# サイバーセキュリティ教育プログラム



IT サービスの高度化により社会の利便性が向上する一方で、社会インフラを脅かすサイバー 攻撃や個人情報の詐取などの脅威が拡大しており、サイバーセキュリティは重要な課題です。 本プログラムは、これらの脅威が発生する理由やその仕組み、対策方法への理解を深めることで、文系・理系を問わず各分野で必要とされるサイバーセキュリティの基礎知識と基本技術を持った人材の育成を目的としています。



# A分野で必要とされる人材 CyberSecurity for All Cyber Security コンピュータ システム エキュリティ 技術 コンピュータ システム 社会制度

#### ● プログラム概要

サイバーセキュリティの理解と対策に必要な、コンピュータシステムやネットワークの基礎、サイバーセキュリティの技術と事例、社会制度との関係、などを学びます。選択必修科目と選択科目から構成され、選択必修科目はその中でも根幹的な知識や考え方を提供します。

#### ● 科目群

【選択必修科目】 サイバーセキュリティ  $I \sim IV$  / 情報工学概論 / 情報セキュリティ/ 情報メディア論 I 、II など

【選択科目】情報システム技術、情報システムの社会展開などに関する授業多数

#### ● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。

【履修】選択必修科目から4単位以上、選択必修科目と選択科目をあわせて12単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。なお、科目選択にあたっての留意事項がありますので、本プログラムのホームページをご覧ください。



# **University-wide Education Program 2022**

#### University-wide Graduate Education Program

- Interdisciplinary Education Program on Ocean Science and Policy
- Digital Humanities
- Science, Technology, and Innovation Governance
- Global Leadership Program for Social Design and Management

#### University-wide Undergraduate Education Program

- Media Content
- Barrier-Free Education
- Death and Life Studies and Practical Ethics
- Global Japan Studies
- Human Integrative Science and Education of Mind
- Mathematics and Data Science
- Future Regional Society
- CyberSecurity

